

和光大学における内部質保証の方針及び手続

2024 年 9 月 26 日

和光大学 自己点検・自己評価委員会

(1) 内部質保証の目的

建学の精神に基づく研究教育を実現し続けるため、教育研究活動等について点検・評価を自ら定期的に行い、その結果に基づいて改善策を講じることによって、教育研究水準の維持及び向上を図る。

(2) 内部質保証の体制

内部質保証は、学長室会議の責任のもとで行う。自己点検・自己評価委員会の下で、各学部・学科、研究科、各種委員会、各種センター等（以下、「各組織」という）が点検・評価を行い、学長室が改善策を講じる。

各会議体の役割については、以下のとおりである。

・学長室会議

大学全体としての内部質保証の実施に責任を負う。自己点検・自己評価委員会による点検・評価に基づき、全学的な教育研究活動等の有効性を検証し、その検証結果を踏まえて方針等を決定し、各組織に改善を指示する。

・自己点検・自己評価委員会

自己点検・自己評価の基本方針及び点検・評価項目を策定するとともに、全学的な点検・評価を行う。点検・評価の結果は、外部の学識経験者等の意見を聞いた上で報告書として取りまとめ、学長室会議に報告を行う。また、「機関レベル」「プログラム・レベル」「科目レベル」の各レベルにおいて把握した学習成果を集約し、3ポリシーならびに学生生活支援制度、キャリア支援制度の点検を行う。

・各学部教授会、研究科委員会、各種委員会等

自己点検・自己評価委員会が定める基本方針及び点検・評価項目に則り、各々の活動について検証・評価を行い、その結果を取りまとめ、自己点検・自己評価委員会に報告する。学長室会議からの改善指示を踏まえ、改善課題を設定し、改善を実施する。

・FD推進委員会

全学的な教育能力の向上を組織的に促進する。

- ・ I R委員会

学内の学習成果を表す指標を包括的に集計・分析する。学内外の情報を収集・管理・分析・可視化することを通じて、本学における教育研究および大学運営に関する計画策定および意思決定を支援する。

- ・ 企画課

学長室会議、自己点検・自己評価委員会、FD推進委員会、IR推進委員会に関する業務を担う担当事務局。

(3) 内部質保証システム

次のPDCAサイクルに基づいて教育研究活動等の質向上を図る。各組織は、年度始に、学長室会議からの改善指示を踏まえ、自ら改善課題を設定する（P）。各組織は、年度中、自ら設定した課題について改善を図る（D）。各組織は、年度末に、下記の6つの方法でそれぞれ点検・評価を行い、自己点検・自己評価委員会に結果を報告する。自己点検・自己評価委員会は結果を取りまとめ、外部有識者等から意見を聴取した上で、教育研究活動等の有効性に関する検証を行い、結果を学長室会議に報告する（C）。学長室会議は、自己点検・自己評価委員会から示された検証結果を踏まえて改善策を講じ、各組織に改善を指示する（A）。

①「改善報告シート」による点検・評価

各組織は、年度始に自ら設定した課題について、改善状況を点検・評価する。点検・評価の結果を「改善報告シート」に記入し、自己点検・自己評価委員会に提出する。

②中期計画の点検・評価

学長室会議は、「和光学園中期計画」における大学部分について、取り組み状況を確認し、報告書を自己点検・自己評価委員会に提出する。

③特定項目に関する点検・評価

自己点検・自己評価委員会が定める評価者（各機関の責任者等）は、同委員会が定める「特定項目」について点検・評価を行い、報告書を同委員会に提出する。

④学習成果の把握および分析

IR委員会は、事務局各部局（教学支援課、学生支援課、キャリア支援課など）から学習成果を表す指標を収集し、全学部・研究科について包括的に集計・分析する。その結果を報告書にまとめ、自己点検・自己評価委員会に提出する。

各学科・研究科は、アセスメント・ポリシーに基づき、年度ごとに学習成果を把握およ

び分析し、報告書を I R 委員会に提出する（各学科の把握、分析、報告は学部ごとに実施しても良い）。I R 委員会は、報告書を取りまとめ、自己点検・自己評価委員会に提出する。

各教員は、担当科目ごとに学習成果を把握（学生一人ひとりについての学習成果評価結果の集計・分析）し、「担当科目振り返りシート」を用いて、授業方針、授業計画、授業内容の点検を行う。F D 推進委員会は「担当科目振り返りシート」を取りまとめ、I R 委員会に提出する。I R 委員会は「担当科目振り返りシート」を分析し、報告書を自己点検・自己評価委員会に提出する。

⑤授業アンケート集計結果の分析

F D 推進委員会は半期ごとに授業アンケートを実施する。I R 委員会は集計結果を分析し、報告書を自己点検・自己評価委員会に提出する。

⑥事務局各部局による点検・評価

各部局において、各年度の取り組み状況を確認の上、報告書を自己点検・自己評価委員会に提出する。

(4) 標準的な実施スケジュール

種別	実施者・内容	期日	自己点検・ 自己評価委員会	学長室 会議
①「改善報告シート」	各組織(各学部、研究科、各種委員会・会議・センター等)	当年度 2 月末	4 月末までに 評価結果を学長 室会議に提出	5 月に改 善を指示
②中期計画	学長室会議			
③特定項目の点検・評価	各評価者			
④学習成果の分析	IR 委員会 ④-1,2,3 を分析	翌年度 7 月末	9 月末までに 評価結果を学長 室会議に提出	10 月に 改善を指 示
④-1 学習成果の把握・分析	各学科・研究科 昨年度の報告書作成	翌年度 6 月末	—	—
④-2 学習成果を表す指標	事務局各部局 HP「情報公開」および 「FACT BOOK」が該当	随時 ※翌年度 5-6 月頃までに集約	—	—
④-3 担当科目振り返りシート	FD 推進委員会	当年度 前期 9 月実施 後期 2 月実施 ※翌年度 5-6 月頃までに集約	—	—
⑤授業アンケートの分析	IR 委員会 ⑤-1 を分析	当年度 3 月末	4 月末までに 評価結果を学長 室会議に提出	5 月に改 善を指示
⑤-1 授業アンケートの集計	FD 推進委員会	当年度 前期は 9 月 後期は 2 月	—	—
⑥各部局による点検・評価	事務局各部局	当年度 3 月末	4 月末までに 評価結果を学長 室会議に提出	5 月に改 善を指示